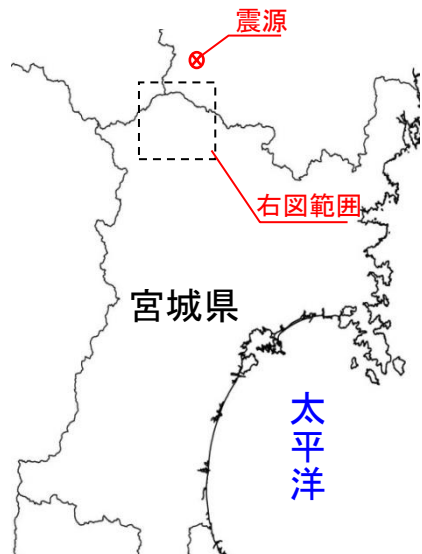


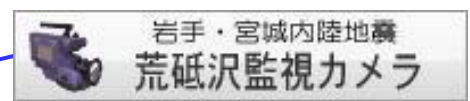
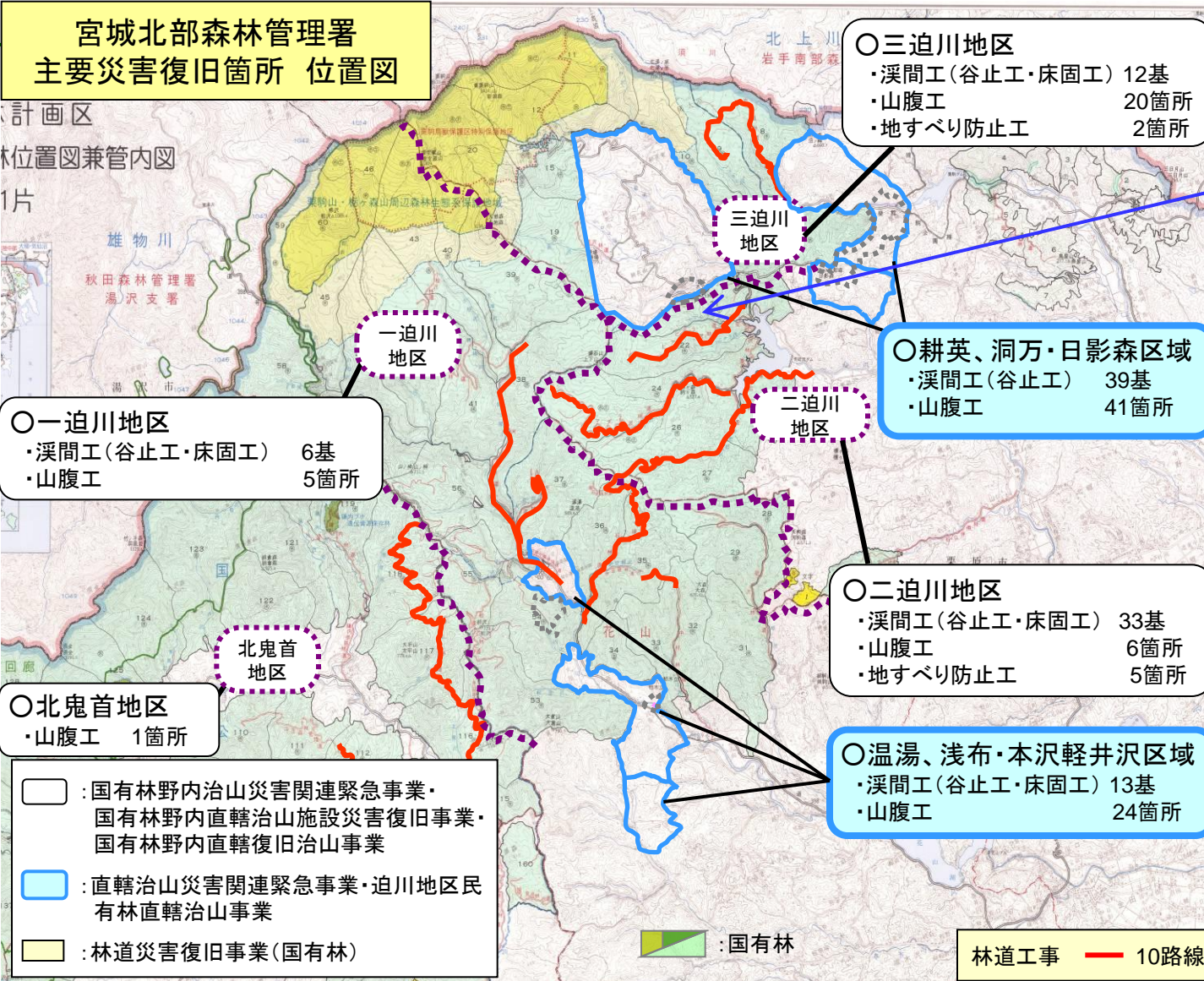
■ 概要

○被災箇所に係る復旧整備状況

- 平成26年度まで
 - 国有林治山事業：溪間工51基、山腹工32箇所、地すべり防止工7箇所
 - 民有林直轄治山事業：溪間工52基、山腹工65箇所
 - 林道災害復旧事業：10路線
- 平成27年度計画
 - 国有林治山事業：溪間工1基、山腹工1箇所
 - 民有林直轄治山事業：溪間工8基、山腹工4箇所



平成20年 岩手・宮城内陸地震の記録
 発生日時 2008年6月14日 午前8時43分頃
 地震の規模 M7.2
 最大震度 6強（宮城県栗原市、岩手県奥州市）
 震源地 岩手県内陸南部
 震源の深さ 約8km
 山腹崩壊箇所 1,062箇所（宮城県内、H20東北森林管理局調べ）



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>



平成27年10月27日撮影

被災地の復旧状況（溪間工の事例）

ヒアヒクラ沢治山工事

本施工地は栗原市栗駒字深山岳国有林地内に位置しています。岩手・宮城内陸地震により二迫川支流の大部分で山腹が崩壊し、溪流内に大量の土砂が堆積しました。荒廃の拡大と土砂の流出を防止するため、平成26年度はコンクリート谷止工、木材チップ緑化工を施工し、平成26年12月24日に完成しました。この施工により、関東・東北豪雨災害時に溪床内から流出した不安定土砂を抑止する効果を発揮し、下流の荒砥沢ダムへの土砂流入を防止しました。



2015 栗原市民まつり（ブース出展の様子）



栗原市の誕生から10周年を迎え、さらなる飛躍と市民総参加による一体感を醸成し、栗原の元気と魅力を内外に発信することを目的として、8月29日栗原市民まつりが開催されました。

100を超えるブース出店や展示、ステージや路上などで数々の催しが行われました。

対策室では内陸地震による山地災害と復旧対策の進捗状況を紹介するパネル展示等を行い、多くの市民の方々にご覧いただきました。

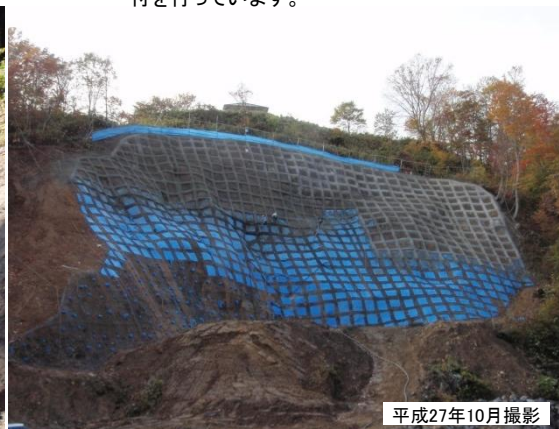
平成27年度 工事施工箇所

- ① 本沢軽井沢(H27)治山工事
[コンクリート谷止工]
間詰工を行っています。



復旧工事を進めます

- ② 耕英岩魚沢(H27)治山工事
[簡易吹付法砕工]
砕をモルタル吹付後、砕内に植生基材吹付を行っています。



- 耕英岩魚沢(H27)治山工事
・コンクリート谷止工 3基
・山腹工 約 4900 m²

- 耕英御沢Ⅴ(H26)治山工事
・コンクリート谷止工 1基
・コンクリート床固工 1基

- 耕英岩魚沢Ⅱ(H26御沢)治山工事
・コンクリート谷止工 1基

- 洞万(H27)治山工事
・山腹工 約 12000 m²

- 荒砥沢治山工事
・山腹工 約 1900 m²
・作業道作設 75.0 m

- 本沢軽井沢(H27)治山工事
・コンクリート谷止工 1基
・山腹工 約 1200 m²

- 湯ノ倉上流治山工事
・鋼製砕谷止工 0.7基 ほか

- ③ 耕英御沢Ⅴ(H26)治山工事
[コンクリート床固工]
合板型砕の設置、コンクリート打設を行っています。



- ④ 洞万(H27)治山工事
[植生基材吹付工]
植生基材の吹付を行っています。



- ⑤ 耕英岩魚沢Ⅱ(H26御沢)治山工事[コンクリート谷止工]
河床の整理、間詰工を行っています。



- ⑥ 荒砥沢治山工事 [山腹工(丸太柵工)]
植生シートの伏工を行っています。



- ⑦ 湯ノ倉上流治山工事 [鋼製砕谷止工]
関東・東北豪雨災害で被災した鋼材等の撤去及び再中詰等を行っています。

